

# 一般社団法人 鳥取県作業療法士会

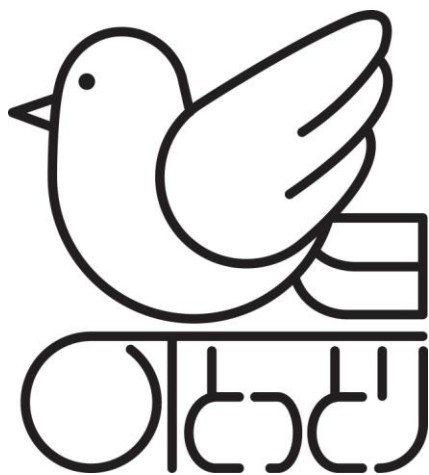
## 令和6年度 定時社員総会

### 議 案 書

期日：令和 6年 5月 19日（日） 10：00～11：00

会場：まなびタウンとうはく 研修室

（東伯郡琴浦町大字徳万266-5 TEL：0858-52-1111）



一般社団法人 鳥取県作業療法士会

事務局

〒683-0825 鳥取県米子市錦海町3-3-2

YMCA米子医療福祉専門学校内

TEL：080-2930-5010

MAIL：[jimu@tottori-ot.or.jp](mailto:jimu@tottori-ot.or.jp)

## 総 会 次 第

1. 開会のことば
2. 議 長 選 出
3. 会 長 挨 拶
4. 定 足 数 報 告
5. 書 記 任 命
6. 決 議 事 項
  - 第1号議案 令和5年度事業報告書承認の件
  - 第2号議案 令和5年度決算報告書承認及び監査報告の件
  - 第3号議案 その他
7. 報 告 事 項
  - 令和6年度 事業計画及び予算
8. そ の 他
9. 議長、書記解任
10. 閉会のことば

### 目 次

総 会 次 第	. . . . .	1
決 議 事 項	第1号議案 令和5年度事業報告承認の件	2
	事務局	2
	財務部	3
	規約委員会	3
	倫理委員会	4
	総会議事運営委員会	4
	選挙管理委員会	4
	広報部	4
	事業部	5
	学術部	6
	教育部	7
	生活行為向上マネジメント委員会	9
	地域包括ケアシステム委員会	10
	認知症・メンタルヘルスケア推進委員会	12
	こども発達支援推進委員会	13
	その他	13
	第2号議案 令和5年度決算報告書承認及び監査報告の件	14
	財産目録	15
	貸借対照表	15
	令和5年度決算書	16
正味財産増減計算書	23	
監査報告書	25	
第3号議案 その他	26	
報 告 事 項	令和6年度事業計画及び予算	
	事務局	27
	財務部	27
	規約委員会	27
	倫理委員会	28
	総会議事運営委員会	28
	選挙管理委員会	28
	広報部	28
	事業部	28
	学術部	29
	教育部	30
	生活行為向上マネジメント委員会	31
	地域包括ケアシステム委員会	31
	認知症・メンタルヘルスケア推進委員会	33
	こども発達支援推進委員会	33
	令和6年度予算書	34

# 第1号議案 令和5年度 事業報告書承認の件

## 令和5年度 事業報告

### 【管理運営部門】

#### ◎ 事務局

##### 1. 会議の開催

- (1) 令和5年度定時社員総会：令和5年5月21日(日) まなびタウンとうはく
- (2) 理事会：令和5年4月15日(日) 令和5年6月1日(木) 令和5年7月15日(土)  
令和5年9月30日(土) 令和5年11月26日(日) 令和6年1月6日(土)  
令和6年3月10日(日) / 計7回開催
- (3) 事務局会議：メール等での連絡のみで業務遂行実施できたため、会議の開催はなし
- (4) 三役会議：令和5年9月21日(木) 令和5年11月21日(火) / 計2回開催

##### 2. 会員管理

###### (1) 会員の入退会管理

入退会状況(令和6年3月31日現在)

会 員 数					異 動 届		
正会員	自宅	休会	入会	退会	勤務先変更	転出	転入
546名	22名	9名	24名	27名	26件	4件	3件

※うち21名、会費未納による退会

- (2) 賛助会員への対応：R5年度賛助会員なし
- (3) 入会促進活動：2月末に県内養成校(2校)へ入会案内と入会申込書を送付

##### 3. 文書管理

###### (1) 内外文書の受取・保管(令和6年3月31日現在)

総数	会員	OT協会	他士会	行政(県・市)	その他県内団体	その他
218件	16件	11件	111件	13件	41件	26件

###### (2) 会員への情報配信(令和6年3月31日現在)

各部局からの連絡、ホームページ更新情報を会員へ一斉メール配信/23件

- (3) 個人情報の保護に関すること：役員改選時の研修会開催；令和5年5月21日(日)総会后研修会で実施  
安全管理措置に関するチェック；7月・1月理事会で実施、事務局保管

##### 4. 作業療法士に関する全国組織との連携

###### (1) 日本作業療法士協会

###### ① 日本作業療法士協会令和5年度定時社員総会

令和5年5月27日(土)Web開催/鳥取県代議員(永見忠志、梅津清司郎)

###### ② 47都道府県委員会(年4回)

第1回 令和5年6月10日(土)Web開催/段敬史、北山朋宏、菊本理恵

第2回 令和5年9月9日(土)ハイブリッド開催 /永見忠志、北山朋宏、菊本理恵

令和5年9月10日(日)ハイブリッド開催/段敬史、北山朋宏、菊本理恵

第3回 令和5年11月25日(土)Web開催/段敬史、北山朋宏、菊本理恵

第4回 令和6年3月9日(土)Web開催/ 段敬史、菊本理恵

###### ③ 日本作業療法士会からのアンケート回答/1件

###### ④ 協会員=士会員に向けて協会、他県士会事務局との情報交換や顧問弁護士の相談を適宜実施

##### 5. 関係機関との渉外、連携・調整に関わること

###### (1) 会長活動

###### ① 養成校への入学式・卒業式出席または祝電の送付

入学式：祝電/YMCA 米子医療福祉専門学校(会長出席)、鳥取市医療看護専門学校

卒業式：祝電/YMCA 米子医療福祉専門学校(会長出席)、鳥取市医療看護専門学校

###### ② 関係機関との会議出席

鳥取 JRAT 協定式：令和5年11月25日(木)鳥取市/段敬史

リハビリテーションの未来を語る会：令和5年12月17日(日)倉吉市/永見忠志(代理出席)

藤井省三氏お別れ会：令和6年1月20日(土)湯梨浜町／永見忠志（代理出席）

(2) 鳥取県社会福祉協議会

研修講師推薦：高次脳機能障害／井尾政美（三朝温泉病院）

高齢者と楽しむレクリエーション／東部；坂本一郎（さとに田園クリニック）

オンライン；本多政志（老健すこやか）

西部；金山雄気（仁風荘）

(3) 県内市町村等への介護認定審査会・障害区分認定審査会委員の推薦：R5年度推薦なし

(4) 作業療法士としての地域活動調査（R6年3月31日現在）

県士会ホームページに常時フォームを記載、一斉メール・ニュースにて適宜案内／計27件の回答あり

他団体での講師・講演(8)、認知症・介護予防教室やサロンでの指導(6)、一体的事業(1)、

地域ケア会議への参加(4)、訪問同行(2)、県や市町村が開催する会議への参加(2)

認知症初期集中支援チーム員会議(2)、介護・障害区分認定審査会(2)

6. その他法人の管理運営に関すること

(1) 法人市民税・県民税：減免申請手続きを行い、令和4年度分全額免除

(2) 会員、他県士会、他団体等からの問い合わせ対応：随時対応／10件

(3) 弁護士への相談：令和6年1月23日(火)協会員＝士会員への対応について／菊本理恵

その他随時メールにて相談

(4) 法令、制度変更に伴う書類等の見直し：プライバシーポリシーの改訂に向けた準備・情報交換

(5) 役員改選に伴う諸手続き：法務局への変更登記申請、ホームページ及び関連書類の作成・修正を行った

7. 追加事項

(1) OT協会代議員選挙

11/1時点で立候補者なし、理事会より3名を推薦（北山朋宏、梅津清司郎、小山雅之）

◎ 財務部

1. 会費徴収について

(1) 会費徴収

① 会員数：547名（内休会中9名、納入後の退会者は含まず）

② 会費納入者数：515名（他県士会での納入、納入後の転出者含む）

③ 会費未納者数：18名（休会中9名含まず）

④ 徴収率：94%

(2) 未納者への督促

① ホームページへ案内や県士会ニュースへ未納者の会員番号（OT協会）を掲載

② 令和6年1月に会費未納者に対して督促状と振込用紙の送付を実施

2. ボランティア保険加入手続き

108名の加入手続きを行った

3. 備品管理台帳の更新と各部備品の管理

各部から備品情報を収集し備品管理台帳を更新した

4. 予算事務に関する特記事項

令和5年度(1)(3)について計上した予算は決算書のとおり執行した

(2)については関係部局との調整中のため執行せず

◎ 規約委員会

1. 会議開催（委員会）

第1回：令和5年12月11日

2. 費用弁償規程の変更について（講師基準枠及び講師費の変更）

講師基準について、会員外の経験年数制限を廃止し、認定・専門OTの他に教授・准教授の区分を新設する。

講師費への上乗せは3,000円とし、作業療法士以外の講演等については上限30,000円のままとする。

## ◎ 倫理委員会

1. 現職者共通研修会「職業倫理」の講演
  - (1)期日：令和5年7月2日 11:10～12:40
  - (2)会場：YMCA 米子医療福祉専門学校
  - (3)講師：長田貴徳氏（尾崎病院）
2. 相談への対応
  - (1)相談件数：0件
3. 一般社団法人日本作業療法士協会との連携
  - (1)一般社団法人日本作業療法士協会倫理委員会への報告はなし

## ◎ 総会議事運営委員会

1. 定時社員総会の議案書の作成。※議事録の作成（事務局）
2. 定時社員総会の開催
  - (1)期日：令和5年5月21日（日） 10:00～11:00
  - (2)会場：倉吉未来中心 セミナールーム7
  - (3)内容：令和4年度事業報告書承認  
令和4年度決算報告書承認及び監査報告  
役員改選（役員選出）の件  
令和5年度事業計画及び予算
  - (4)正会員総数：543名（令和5年4月1日現在）  
出席正会員数：298名（会場出席24名、書面採決・委任状出席274名）  
総社員の3分の2の出席もあり、開催に対して影響はなかった。  
議長：デイサービスつむぎ 下石 勝哉氏  
書記：渡辺病院 横尾 和也氏、デイサービスつむぎ 長田 啓氏

## ◎ 選挙管理委員会

1. 委員会開催  
R5年度は委員会開催なし
2. 選挙方法について検討  
届け出、投票方法等について（ネット活用なども含め）次期委員で引き続き検討

## 【事業部門】

### ◎ 広報部

1. 士会ニュース
  - (1)発行回数 4回（6月：119号、9月：120号、11月：121号、翌2月：122号）
  - (2)運用に関して：発送方法の変更  
令和6年1月31日で、これまで利用してきたクロネコDM便が廃止。2月発行分はゆうメールで発送を実施したが、日本郵便より信書性が高いとの判断を受け、2024年度は普通郵便での発送となる。郵送費が従来の約2.5倍に増加する試算。
2. 広報資料取り寄せ
  - (1)日本作業療法協会より啓発活動に使用するパンフレット、ポストカード、オーティークン人形などを取り寄せ（5月）
3. 啓発・広報活動
  - (1)啓発活動
    - ①士会会員向け  
情報発信は公式LINE。その他の具体的な事業はなし。
    - ②県民向け  
依頼や申し込みにより以下のイベントに参加。
      - i. 第7回ボランティアフェスティバル（倉吉福祉センター 令和5年6月25日）

派遣者：西東佳奈（三朝温泉病院）、松本周三（三朝温泉病院）

内容：イベントの中で主に中高生を対象とした、職業紹介コーナーでの展示・体験。

作業バランスチェックを受けてみる体験を実施した。

ii. 鳥取方式フレイル予防フェア（ハワイアロハホール 令和6年2月4日）

派遣者：河田修（野島病院）、原田伸吾

内容：フレイル予防に関するブースでの出展。社会参加に着目したもので、日常生活チェックと題し、作業バランスの自己分析、そこからの生活習慣の見直しや生きがいの再発見をお手伝いするというものを提供した。

iii. 令和新時代「とっとり元気フェス」（とりぎん文化会館 令和6年2月4日）

派遣者：前田恵（倉吉病院）、松本周三

内容：作業療法の紹介（パネル展示）と体験。体験は作業バランスチェックを実施した。

4. 広報媒体の管理・運用

(1) 鳥取県作業方法士会ホームページ (<https://tottori-ot.or.jp/>)

①記事掲載数：52件（2023年4月1日～2024年2月19日）

②運用について

県士会組織の再編に伴いページ内容の修正を実施。来年度にかけて内容の見直しを実施していく。

(2) SNS

・広報部管理アカウント 公式LINE、X（旧Twitter）、Google

公式LINEは現在フリープラン（月200通まで）。令和6年2月時点で登録数171名。現状は最大月1回の配信。登録数が200名を超えれば運用について再検討。

5. 日本作業療法士協会との連携

今年度は実施なし

6. その他

特記なし。

◎ 事業部

1. 総会後研修会（参加者 36名）

(1) 期日：令和5年5月21日（日）

(2) 会場：「まなびタウンとうはく」とWebのハイブリット形式

(3) 内容：①県士会活動を行うにあたって必要な法的知識～著作物や個人情報の取り扱いを中心に～

講師：弁護士 橋澤加世 先生（米子東町法律事務所）

②生涯教育制度について

講師：北山朋宏（教育部長、所属；錦海リハビリテーション病院）

2. 訪問リハ・地域リーダー会議

(1) 期日：令和5年8月26日（土）

(2) 開催方法：Web (Zoom)

(3) 出席者：川上紘司（錦海リハビリテーション病院）

3. 中国地区作業療法士会合同研修会

(1) 期日：令和5年12月16、17日（土、日）

(2) 会場：「YMCA 米子医療福祉専門学校」とWebのハイブリッド形式

(3) 内容：クローズド研修（参加者 49名）

テーマ：①会員が生涯教育に興味を持つための工夫

～アフターコロナの状況を踏まえて～

②広報活動について（士会員への広報、作業療法の普及啓発、SNSの活用）

③士会の福利厚生、学会運営（企画、査読）、士会運営の勉強会について

④POSTの現状と活動内容・課題の共有

⑤子ども分野の作業療法について

（学校との連携、不登校・ゲームネット依存等への対応など）

オープン研修（参加者 60名）

テーマ：地協会の目指すところと士会に期待すること

講師：山本 伸一 先生（一般社団法人 日本作業療法士協会 会長）

(4)世話人：段敬史（メディカ・サポート株式会社）、田住秀之（YMCA 米子医療福祉専門学校）、高梨悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）、菊本理恵（YMCA 米子医療福祉専門学校）、永見忠志（皆生温泉病院）、小山雅之（SOI STANCE）、山口大輝（SOI STANCE）、北山朋宏（錦海リハビリテーション病院）、川上紘司（錦海リハビリテーション病院）、平野正樹（錦海リハビリテーション病院）、山本未来（錦海リハビリテーション病院）、足立直也（博愛病院）、原田伸吾（株式会社つむぎ）、来間寿史（株式会社つむぎ）、松本周三（三朝温泉病院）、前田恵（倉吉病院）

(5)実行委員会：第1回：令和5年6月27日、第2回：令和5年10月19日  
第3回：令和5年10月24日、第4回：令和5年11月1日  
第5回：令和5年11月17日、第6回：令和5年11月18日  
第7回：令和5年12月7日、第8回：令和5年12月13日

#### 4. 訪問リハビリテーション実務者研修会

(1)期日：令和6年3月3日（日）

(2)開催形式：Web(Zoom)

(3)参加者：川上紘司（地域リーダー 所属；錦海リハビリテーション病院）

(4)内容：「在宅で活かせる！循環器・呼吸器リハビリの基礎と実践」

第1部「明日から実践！循環器疾患患者に必要なリスク管理」

「訪問リハビリにおける循環器・呼吸器リハの実際」

第2部「在宅で活かせる！呼吸器疾患のリハビリテーション」

「生活期でのST・管理栄養士の関わりについて」

#### 5. 士会員への福利厚生

(1)内容：理事へのアンケート、中国他県の情報などを得ながら検討してきた。まずは取り組みやすいところから始めていく。その結果を踏まえて、内容の修正や新たな福利厚生事業を実施していく。令和6年度から開始予定。新入会員を対象とした事業を計画する。

### ◎ 学術部

#### 1. テーマ別勉強会

##### (1)開催状況

地区	テーマ別勉強会	開催回数	決算額（円）
東部	東部地区全般勉強会	2	14,000
東・中部	特別支援教育（東部・中部）	0	0
中部	中部精神科勉強会	0	0
	中部地区合同勉強会	0	0
西部	西部精神科勉強会	0	0
	西部福祉用具・住環境勉強会	0	0
	CVA 勉強会	4	0
	作業を考える会	0	0
	特別支援教育（西部）	0	0
総計		6	14,000

※依然新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の状況により開催回数は少ない。Zoom を用いた勉強会など工夫も見られたが勉強会の在り方を見直す時期かもしれない。

#### 2. 第19回鳥取県作業療法学会

(1)会期：令和5年12月9日（土）

(2)会場：さなめホール（米子市淀江文化センター）

(3)内容：

①学会テーマ：「作業療法×次世代テクノロジー ～作業療法の未来を創る～」

②学会長講演：射場靖弘（鳥取大学医学部附属病院）

③特別講演：「脳卒中後上肢麻痺に対するテクノロジーに根ざしたアプローチの最新事情—DX 化の最前

線一」竹林 崇（大阪公立大学 作業療法士）

「Occupational Design with 3D Printer」林 園子（ICT リハビリテーション研究会 作業療法士）

④機器展示：mediVR KAGURA、ハピネライフー光

⑤自助具展示：Fabble

⑥一般演題：口述4演題、ポスター9演題（計12演題）

⑦スピンオフ企画：3Dプリンタワークショップ（12月10日 @よなご脳神経クリニック）

参加者：14名（内訳：鳥取県11名、県外3名）

(4)参加者内訳：参加者：110名（内訳：鳥取県86名、中国4県5名、その他県士会2名、他職種4名、学生13名）

(5)実行委員：

学会長 射場靖弘（鳥取大学医学部附属病院）

実行委員長 村瀬良知（よなご脳神経クリニック）

副実行委員長 田村理恵（鳥取大学医学部附属病院）

広報・接待 門脇翔子（大山リハビリテーション病院）

広報・接待 鳥飼桃子（株式会社つむぎ）

演題・査読 平野正樹（錦海リハビリテーション病院）

会場 山本未来（錦海リハビリテーション病院）

会場 宍戸順子（鳥取大学医学部附属病院）

学会誌 日野祐樹（養和病院）

学会誌 田中 卓（養和病院）

会計 仲田奈生（YMCA 米子医療福祉専門学校）

部長/広報/会計 高梨悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）

3. 第20回鳥取県作業療法学会

(1)学会長および実行委員の選出：※事業計画に掲載

(2)実行委員会：第1回実行委員会（2024年2月13日倉吉病院・Zoomにて）

4. 査読委員会

(1)査読委員：池淵敏斗（米子病院）、松本周三（三朝温泉病院）、  
宮脇淳（米子東病院）、平野正樹（錦海リハビリテーション病院）、  
高梨悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）

(2)内容

①査読者の登録および管理

②査読者の選定と査読依頼

③査読結果の集約

（採択・不採択の最終判断は、学会長と査読委員長との協議で行った）

④県学会演題採択に関する投稿規定作成および修正

⑤査読委員会の開催（実質的に査読委員会は開催せずメール等での確認を行った）

## ◎ 教育部

1. 生涯教育制度に関する管理

(1)生涯教育履修状況の管理－生涯教育履修リスト更新

県士会名簿更新時、基礎研修開催時、事務局からの連絡時等に随時実行. 認定OT13名

(2)基礎研修ポイント管理・発行

①士会裁量基礎研修ポイント集計・発行

②現職者共通研修会ポイント発行

③現職者選択研修会ポイント発行

④臨床実習指導者講習会ポイント発行

⑤鳥取県作業療法学会ポイント発行

⑥基礎研修会（士会主催及び共催）ポイント発行



## 2. 生涯教育制度に関する開催

### (1) 現職者共通研修会

期日と会場	区分	テ ー マ	講 師	認定数
① 前期 7月2日(日) YMCA 米子医療	I	作業療法生涯教育概論	北山 朋宏：錦海リハ病院	11
		職業倫理	長田 貴徳：尾崎病院	12
	III	作業療法における協業・後輩育成	田住 秀之：YMCA 米子	10
		保健・医療・福祉と地域支援	長谷川 徹：はまなす	9
② 後期 10月15日(日) まなびタウン	II	作業療法の可能性	宮城 直子：	7
		事例報告と事例研究	梅津清司郎：YMCA 米子	7
	IV	日本と世界の作業療法の動向	藤田 恵子：セラトピア	8
		実践のための作業療法研究	高梨 悠一：YMCA 米子	7

### (2) 現職者選択研修会

期日と会場	テ ー マ	講 師	参加者
12月2日 (土) Web 開催	急性期における身体障害の作業療法の役割	射場 靖弘 鳥取大学医学部附属病院	16
	回復期における身体障害の作業療法の役割	田中 卓 養和病院	16
	生活期における身体障害の作業療法の役割	原田 伸吾 デイサービスつむぎ	16
	認知症における行為・動作とその障害	中川 賀嗣 北海道医療大学	22

### (3) 臨床実習指導者講習会

期日	2024年2月10日(土)～11日(日)
会場	YMCA 米子医療福祉専門学校
参加者	24名
講師及びファシリテーター	9名

## 3. 生涯教育に関する研修会等の認定

(1) 現職者共通研修「事例報告」「事例検討」認定（テーマ別勉強会教育部員が「事例報告会認定申請」を行い、教育部長が受理・認定。学術部員がホームページ掲載依頼）

地区	テーマ名	件数 (前年度)
東部	全 般	0(0)
中部	中部合同	0(0)
	精 神 科	0(0)
西部	作業を考える	0(0)
	C V A	2(3)
	社会資源	0(0)
	治療演習ADL分析	0(0)
	精 神 科	0(0)
計		2(3)

(2) 基礎研修会認定（テーマ別勉強会教育部員が申請を行い、教育部長が受理・士会主催認定）

(3) SIG等登録認定（SIGとして認定を希望する団体を会員が申請し教育部長が受理・認定）なし

#### 4. 日本作業療法士協会の生涯教育制度推進担当者

- (1)生涯教育制度推進担当者会議会（Web会議）出席8月29日、11月18日 参加：北山朋宏  
・研修システム（基礎研修ポイント申請）について情報を得た。

#### 5. 会員への情報伝達

##### (1) 県士会ニュースへの掲載

- ・前期現職者共通研修会（Ⅰ・Ⅲ）のご案内
- ・後期現職者共通研修会（Ⅱ・Ⅳ）のご案内
- ・現職者選択研修会（身体障害領域）のご案内
- ・臨床実習指導者講習会のご案内

##### (2) ホームページへの掲載

- ・前期現職者共通研修会（Ⅰ・Ⅲ）のご案内
- ・後期現職者共通研修会（Ⅱ・Ⅳ）のご案内
- ・現職者選択研修会（身体障害領域）のご案内
- ・臨床実習指導者講習会のご案内

#### 6. 他部との連携・協力

- (1) 学術部：鳥取県作業療法学会、テーマ別勉強会、基礎研修会、ポイント発行など  
(2) 事業部：訪問リハビリテーション実務者研修会など  
(3) 特設委員会：士会主催研修会など  
(4) 事務局：会員管理事務など

### ◎ 生活行為向上マネジメント委員会

#### 1. 令和5年度鳥取県地域医療介護総合確保基金

介護予防の推進に資する OT, PT, ST 指導者育成事業、生活行為向上マネジメント啓発事業

補助金合計：¥716,000

#### 2. 会議の開催

##### (1) 定期委員会

- |               |                |               |
|---------------|----------------|---------------|
| 第1回：令和5年4月13日 | 第2回：令和5年6月28日  | 第3回：令和8年8月23日 |
| 第4回：令和5年9月21日 | 第5回：令和5年10月16日 | 第6回：令和5年11月8日 |
| 第7回：令和6年1月10日 | 第8回：令和6年2月18日  |               |

#### 3. 出張派遣

##### (1) 会議出張

###### ①生活行為向上マネジメント全国推進会議(WEB)

第1回：令和6年1月22日

参加者：土井宣幸（はまかぜ）、松本周三（三朝温泉）、清水里江子（尾崎病院）  
鬼木徳子（やわらぎ）、竹谷豊（のじま）、高橋博子（藤井政雄記念病院）

###### ②中国ブロック MTDLP 協議会 (WEB)

第1回：令和5年10月11日

参加者：土井宣幸（はまかぜ）、松本周三（三朝温泉）、高橋博子（藤井政雄記念病院）  
鬼木徳子（やわらぎ）、清水里江子（尾崎病院）、竹谷豊（のじま）

第2回：令和6年2月12日

参加者：土井宣幸（はまかぜ）、松本周三（三朝温泉）、高橋博子（藤井政雄記念病院）  
鬼木徳子（やわらぎ）、清水里江子（尾崎病院）、竹谷豊（のじま）

#### 4. 県内研修会

##### (1) 令和5年度 第1回 MTDLP 研修会書き方研修 (WEB 研修)

日時：令和5年7月31日 19:00～21:00

場所：ZOOM

参加者：参加者：12名

##### (2) 令和5年度 第2回 MTDLP 研修会基礎研修 (WEB 研修)

日時：令和5年10月22日 9:00～16:50

場所：ZOOM

参加者：参加者：9名

(3) 令和5年度 第3回MTDLP研修会大研修 (WEB研修)

日時：令和5年11月30日 19:00～21:00

場所：ZOOM

参加者：参加者：28名 (他県士会員17名)

(4) 令和5年度 第4回MTDLP研修会実践者研修 (WEB研修)

日時：令和6年1月21日 19:00～21:00

場所：ZOOM

参加者：参加者：13名 (報告者3名、聴講10名)

## ◎ 地域包括ケアシステム委員会

### 1. 令和5年度鳥取県地域医療介護総合確保基金申請作業

令和5年度鳥取県地域医療介護総合確保基金 (介護分) 補助金

資質の向上 介護予防の推進に資する OT, PT, ST 指導者育成研修

総事業費 166,648円に対し、交付決定額 138,000円の補助金

### 2. 研修会開催

#### (1) 地域包括ケアシステム人材育成研修会 (1回)

①テーマ：C型事業と一体的実施事業の実際

②開催日：令和5年12月15日 (金曜日) Web研修会

③内容

地域包括ケアシステムの概要と日本作業療法士協会の動向

株式会社つむぎ 原田 伸吾 氏

短期集中予防サービス事業 (C型事業) の取り組み紹介

株式会社つむぎ 下石 勝哉 氏

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の取り組み紹介

江府町役場 光島 宏美 氏

株式会社つむぎ 長田 啓 氏

④参加者：18名

#### (2) 地域包括ケアシステム大研修会 (1回)

①テーマ：高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について

作業療法士としてできることと多職種連携について理解を深め、

実際の業務に生かす。

②開催日：令和6年2月16日 (金曜日) Web研修会

③内容

オリエンテーション 地域包括ケアシステム委員会 永見 忠志 氏

「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」について理解を深める。

また、作業療法士に期待されることについて。

米子市福祉保健部フレイル対策推進課 小椋 善文 氏

グループワーク 医療・介護・地域における連携・情報共有について

普段から心掛けている情報発信・多職種連携のポイント

役に立つ情報・嬉しかった情報を共有し明日からの実務に繋げる。

災害対策 令和6年能登半島地震 JRAT活動報告

錦海リハビリテーション病院 平野 正樹 氏

④参加者：19名

#### (3) 令和5年度 運転と作業療法研修会 基礎編

①テーマ：自動車運転支援の基礎知識について学ぶ

②開催日：令和5年8月26日 (土) 9時～12時 WEB研修 Zoomを使用

③内容

自動車運転の基礎的知識 講師：錦海リハビリテーション病院 原田 あゆ美 氏

グループワーク 自動車運転支援の課題

地域毎の関連機関とのネットワークについて

④参加者：11名

(4)令和5年度 運転と作業療法研修会 代償手段編

①テーマ：自転車の支援について学ぶ、支援モデルを作る

②開催日：令和6年2月3日（土）9時～12時 WEB研修 Zoomを使用

③内容

自転車運転の基礎知識

講師：養和病院 岩崎 大輔 氏

事例紹介

養和病院 岩崎 大輔 氏

錦海リハビリテーション病院 原田 あゆ美 氏

グループワーク

自転車支援モデル作成に向けた意見交換・役割分担

④参加者：8名

3. 災害時対応マニュアルの作成協議

(1)日本作業療法士協会災害シミュレーションの実施

士会理事を対象に実施

第1報を9/25、第2報（2週間経過状況）10/9、第3報（1ヶ月経過状況）10/25

最終結果をOT協会へ報告

(2)会員の安否確認方法、連絡・報告系統作成の検討

具体的検討ができなかった。

(3)災害時マニュアルの作成検討

具体的な検討ができなかった

(4)他県士会・多団体との災害時連携の確認（徳島県・POST・JRATなど）

鳥取 JRAT と鳥取県との協定式 23年11/12

鳥取 JRAT 運営会議出席 1/9 1/16 2/7 段 永見

県士員への情報提供実施

徳島県作業療法士会との連携に至らなかった

4. 地域包括ケアシステム協力体制の整備推進

各市町村でのOT活用調査実施

5. パンフレット・フレイル予防啓発チラシの見直しと管理

パンフレットの作成

県内イベントにおいて試験的に住民へ配布

680枚印刷

6. 担当者会議等

(1)地域包括ケア委員会

全県委員会 7/13 12/7 1/24

西部地区委員会 6/21 7/10 9/27 11/27 12/13 1/12 2/9

災害対策委員会 6/30

自動車運転委員会

全県委員会 6/15 8/24

東部委員会 1/12

中部委員会 1/16

西部委員会 2/29

Eブロックミーティング（中四国地方） 6/8 7/20 11/16 3/21

地域事業支援会議（OT協会） 6/23 10/7.8 3/3

地域ケア会議参加・見学 10/12 10/19 11/15 11/16 12/5 12/7 2/15

(2)委員メンバー

委員長：永見忠志（皆生温泉病院）

副委員長：平野正樹（錦海リハビリテーション病院）

東部委員：責任者 原田伸吾（デイサービスつむぎ）

大淵賢一（鳥取赤十字病院）、藤原礼奈（鳥取赤十字病院）

涌島恵理（鳥取療育園）、長田 啓（デイサービスつむぎ）

中部委員：責任者 藤田恵子（老健セラトピア）

三浦純（三朝温泉病院）

西部委員：責任者 村瀬良知（よなご脳神経クリニック）  
加藤淳美（サンライズ名和）、三上将史（山陰労災病院）  
災害対策： 平野正樹（錦海リハビリテーション病院）  
藤田恵子（セラトピア）、永見忠志（皆生温泉病院）  
磯江慎吾（とつとの杜こどもリハビリテーションクリニック）

自動車運転研修会企画・実施メンバー

責任者兼西部地区委員長 岩崎大輔（養和病院）  
西 部 射場靖弘（鳥取大学病院）、河場航（山陰労災病院）  
原田あゆ美（錦海リハビリテーション病院）、中尾浩之（博愛病院）  
門脇翔子（大山リハビリテーション病院）  
中部地区委員長 幸田真（藤井政雄記念病院）  
中 部 中村貴紀（三朝温泉病院）、西東佳奈（三朝温泉病院）  
樋口由紀子（清水病院）、竹田佳弘（藤井政雄記念病院）  
東部地区院長 坂尻信幸（鳥取県立中央病院）  
東 部 中島直（尾崎病院）、福田哲也（NH0 米子医療センター）  
木下真実（鳥取生協病院）、井上雅人（鳥取県立中央病院）

## ◎ 認知症・メンタルヘルスケア推進委員会

### 1. 令和5年度地域医療介護総合確保基金

事業名：チームケアリーダー育成研修事業 総事業費：440,587 円 助成額：387,000 円

### 2. 委員会開催

第1回：7月20日(木) 第2回：9月15日(金) 第3回：11月23日(木) 第4回：令和6年2月8日(木)

### 3. 認知症研修会

#### (1) 第22回認知症研修会【テーマA・B】

- ①日 程：令和5年11月23日(木・祝) 10:00～12:00 /WEB
- ②講 師：田中 寛之 氏（大阪公立大学・作業療法士）
- ③内 容：認知症の基礎知識から作業療法で使える評価・介入まで
- ④参加者：26名(他職種・学生含む)

#### (2) 第23回認知症研修会【テーマD】

- ①日 程：令和6年1月14日(日) 10:00～12:00 /YMCA 米子医療福祉専門学校
- ②講 師：西 智弘 氏（一般社団法人プラスケア代表理事・川崎市立井田病院 医師）
- ③内 容：社会的処方～孤立という病を地域の繋がりですすめよう / 認知症 VR 体験会
- ④参加者：44名(他職種・学生含む)

#### (3) 認知症研修会等修了状況(令和6年3月1日現在)

- ①認知症研修6テーマ受講修了者 118名
- ②認知症初期集中支援チーム員研修受講者 6名/伝達講習受講者 90名(他職種含む)

### 4. 事業協力・派遣

#### (1) とっとり方式認知症予防プログラム普及啓発事業協力

##### ①協力内容

- i. とっとり方式認知症予防プログラム普及啓発事業研修会講師(県内10ヵ所) 派遣協力7名
- ii. 三朝町とっとり方式認知症予防教室講師 派遣協力2名
- iii. とっとり方式認知症予防プログラム短縮版モデル地区講師 派遣協力3名
- iv. とっとり方式認知症予防プログラム短縮版体験研修(淀江・湯梨浜・鳥取市) 派遣協力3名
- v. 日本認知症予防学会 認知症予防専門士講座実践セミナー講師 派遣協力4名

##### ②派遣協力者

田住 秀之(YMCA 米子)、菊本 理恵(YMCA 米子)、仲田 奈生(YMCA 米子)、安井 和子(YMCA 米子)、  
作野 亘(さかい幸朋苑)、清山 茜(三朝温泉三喜苑)、安井 愛美(大山リハビリテーション病院)、  
宮崎 亜希(さとに田園クリニック)、小竹 佳奈(江美の郷)

#### (2) 認知症初期集中支援チーム/チーム員会議

##### ①派遣協力者

- i. 東部：坂本 一郎(さとに田園クリニック)、岡田 圭祐(ル・サンテリオン鹿野)

ii. 西部：作野 亘(さかい幸朋苑)、金山 雄気(養和病院)

(3)若年認知症の人と家族の集い「にっこりの会」

①協力内容

i. にっこりの会定例会協力、世界アルツハイマーデー記念講演会パネリスト  
映画オレンジランプ上映会・丹野さん交流会

②派遣協力者

i. 東部：横尾 和也(渡辺病院)、清水 佳子(にしまち幸朋苑)、宮城 直子(自宅)

ii. 西部：岡野 元明(ライオンハート)、作野 亘(さかい幸朋苑)、菊本 理恵(YMCA 米子)

(4)西部ろうあ仲間サロン介護予防教室講師：菊本 理恵(YMCA 米子)

(5)中部地区意見交換会：山根 七恵(倉吉病院)

(6)米子市認知症施策を考える会：田住 秀之(YMCA 米子)

(7)RUNTOMO 鳥取

①日 程：10月21日 中部地区/10月22日 東部地区/10月28日 西部地区

②参加者：130人(後援22団体)

③実行委員：岡野 元明(ライオンハート)、高梨 悠一(YMCA 米子)、遠藤 慎治(野島病院)他

(8)OT協会制度対策部「士会における認知症への取り組みを推進する担当者同士の情報交換会」

①日 程：令和6年1月20日(日) 13:00~16:00/Web

②内 容：政府の認知症施策/県士会活動報告(長野県・福岡県)/グループディスカッション

③派遣者：田住 秀之(YMCA 米子)、山根 七恵(倉吉病院)、横尾 和也(渡辺病院)

(9)ひきこもり当事者と地域プラットフォームの協働に基づく社会システムの構築(視察派遣)

①日 程：令和6年2月13日(火)、27日(火)9:30~11:30

②内 容：米子市におけるひきこもり支援に関する研究プロジェクトの視察

③派遣者：田住 秀之(YMCA 米子)、菊本 理恵(YMCA 米子)

5. 令和5年度認知症・メンタルヘルスケア推進委員会(13名)

(1)委員長：田住 秀之(YMCA 米子)

(2)西部委員：岡野 元明(ライオンハート/西部責任者)、高梨 悠一(YMCA 米子)、菊本 理恵(YMCA 米子)  
小竹 佳奈(江美の郷)、金山 雄気(養和病院)、金田 まるみ(西伯病院)

(3)東部委員：横尾 和也(渡辺病院/東部責任者)、岡田 圭祐(ル・サンテリオン鹿野)

(4)中部委員：山根 七恵(倉吉病院/中部責任者)、山本 麻未(倉吉病院)、遠藤 慎治(野島病院)  
松本 生(三朝温泉病院)

## ◎ こども発達支援推進委員会

1. 委員会開催(6回)

(1)小児作業療法の現状と課題の把握

(2)学校作業療法で活躍できる人材育成に関する他県の情報共有

(3)次年度の研修会、勉強会の企画

2. 小児関連事業への協力派遣

3. 鳥取県教育委員会との事業協力について報告と提案

## その他

## 第 2 号議案 令和 5 年度決算報告書承認及び監査報告の件

財産目録

貸借対照表

令和 5 年度決算書（全体）

令和 5 年度決算書（一般会計）

令和 5 年度決算書（特別会計）

正味財産増減計算表

## 財産目録

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科目		金額		
資産の部	1.流動資産			6,485,651
	1)現金		60,000	60,000
	2)普通預金	鳥取銀行三柳支店 303931(財務部)	1,455,308	
	普通預金	三柳支店 303940(事務局)	0	
	普通預金	三柳支店 334713(生活行為向上マネジメント)	0	
	普通預金	三柳支店 303978(こども発達支援推進委員会)	0	
	普通預金	三柳支店 303987(広報部)	0	
	普通預金	三柳支店 312449(学術部)	0	
	普通預金	三柳支店 312458(地域包括ケア)	0	
	普通預金	三柳支店 312467(認知症・メンタル)	0	
	普通預金	三柳支店 327989(事業部)	0	
	普通預金	三柳支店 337377(教育部)	0	
	普通預金	三柳支店 337386(総会議事/選管)	0	
	普通預金	三柳支店 303950(パスマーケット入金)	0	
	郵便振替	ゆうちょ銀行(年会費)	4,970,343	
	郵便振替	ゆうちょ銀行(研修参加費)	0	6,425,651
3)立替金	未収入金	0	0	
2.固定資産			655,000	
(1)特定資産				
1)啓発グッズ等積立預金	ゆうちょ銀行(年会費口座)	655,000	655,000	
資産合計				7,140,651
負債の部	I.流動負債			108,352
	1)前受金	正会員会費 R6 9件	45,000	45,000
	2)預り金	補助金の返金額	63,352	63,352
負債合計				108,352
正味財産				7,032,299

鳥取県作業療法士会

## 貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【 6,485,651】	【流動負債】	【 108,352】
現金・預金	6,485,651	前受金	45,000
		預り金	63,352
【固定資産】	【 655,000】	負債合計	108,352
(特定資産)	(655,000)	純資産の部	
啓発グッズ積立預金	655,000	【剰余金】	【 7,032,299】
		啓発グッズ積立金	655,000
		繰越利益剰余金	6,377,299
		純資産合計	7,032,299
資産合計	7,140,651	負債・純資産合計	7,140,651



令和5年度決算書（全体）

自 令和 5年4月 1日  
至 令和 6年3月31日

勘定科目			
大科目	予算額	決算額	差額
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	2,700,000	2,600,000	100,000
研修会収入	420,000	328,393	91,607
補助金等の収入 (特別会計含む)	1,762,426	1,762,426	0
売上高・雑収入	51,000	50,015	985
事業活動収入合計(A)	4,933,426	4,740,834	192,592

(単位:円)

2. 事業活動支出			
(1) 管理運営部門			
	予算額	決算額	差額
事務局	810,000	508,719	301,281
財務部	388,000	374,467	13,533
規約委員会	2,000	1,500	500
倫理委員会	2,000	0	2,000
総会議事運営委員会	33,000	59,335	-26,335
選挙管理委員会	18,000	0	18,000
(2) 事業費支出			
広報部	388,000	266,486	121,514
事業部	260,000	209,035	50,965
学術部	733,000	610,091	122,909
教育部	598,000	400,596	197,404
地域包括ケアシステム委員会	70,000	31,618	38,382
認知症・メンタルヘルスケア推進委員会	30,000	18,592	11,408
こども発達支援推進委員会	52,000	29,035	22,965
生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費	787,216	787,216	0
地域包括ケアシステム研修事業	261,618	261,618	0
チームケアリーダー育成研修事業	673,592	673,592	0
事業活動支出計 (B)	5,106,426	4,231,900	874,526
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	-173,000	508,934	-681,934

勘定科目	予算額	決算額	差額	備考
中 科 目				
Ⅱ 投資活動収支の部				
1.投資活動収入				
啓発グッズ等積立預金取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計 (D)	0	0	0	
2.投資活動支出			0	
啓発グッズ等積立預金取得支出	50,000	50,000	0	郵便振替預金内にて管理
投資活動支出計 (E)	50,000	50,000	0	
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	-50,000	-50,000	0	
Ⅲ 予備費支出 (G)	200,000	0	200,000	
当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)	-423,000	458,934	-881,934	
前期繰越収支差額(I)	5,918,365	5,918,365	0	
次期繰越収支差額(J)=(H)+(I)	5,495,365	6,377,299	-881,934	

令和5年度決算書（一般会計）

自 令和 5年 4月 1日  
至 令和 6年3月31日

勘定科目								備考
大科目	予算額	決算額	差額	小科目	予算額	決算額	差額	
I 事業活動収支の部								
1. 事業活動収入								
会費収入	2,700,000	2,600,000	100,000	年会費	2,700,000	2,600,000	100,000	5,000円×520名
研修会収入	420,000	328,393	91,607	第19回県学会	150,000	134,971	15,029	第19回県学会参加者111名
				現職者共通研修	60,000	35,220	24,780	現職者共通参加者73名
				現職者選択研修	60,000	85,988	-25,988	現職者選択参加者25名
				臨床実習指導者講習会	150,000	72,214	77,786	臨床実習指導者講習参加者24名
補助金等の収入	40,000	40,000	0	助成金	0	0	0	
				共催金	40,000	40,000	0	中国地区作業療法士会合同研修会 (10,000円×4士会)
				賛助費	0	0	0	
売上高	50,000	50,000	0	売上高	50,000	50,000	0	健康フェス報酬
雑収入	1,000	15	985	雑収入	1,000	15	985	預金利息
事業活動収入合計(A)	3,211,000	3,018,408	192,592					

2. 事業活動支出

(1) 管理運営部門

(単位:円)

	予算額	補正予算額	決算額	差額	勘定科目	金額	補正予算額	決算額	差額	備考
事務局	800,000	810,000	508,719	301,281	事務用品費	50,000	50,000	26,650	23,350	事務用品2,914円、封筒・名刺作成費22,886円、変更登記書類850円
					通信費	60,000	60,000	46,589	13,411	法人携帯使用料40,184円、切手・振込手数料6,405円
					会議費	6,000	6,000	0	6,000	会場費なし
					旅費 交通費	375,000	375,000	128,000	247,000	理事会交通費71,000円(4月旧理事11,000円、新理事60,000円) 三役会議交通費5,500円、代表理事活動費6,000円 YMCA米子医療福祉専門学校入学、卒業式交通費1,000円(500円×2) 事務局業務2,000円 代議員定時社員総会5,000円、協会長・都道府県士会長会議35,000円 弁護士相談日当2,500円
					需用費	20,000	20,000	6,000	14,000	三役会議・47委員会昼食6,000円
					負担金	0	10,000	10,000	0	協会48委員会の各士会負担金
					租税公課	10,000	10,000	10,000	0	登録免許税10,000円
					顧問料	264,000	264,000	264,000	0	弁護士顧問料(22,000円×12か月)
					福利厚生費	15,000	15,000	17,480	-2,480	電報(卒業/入学×2校)7,480円、山口県士会40周年祝金10,000円
財務部	378,000	388,000	374,467	13,533	事務用品費	205,000	207,500	206,455	1,045	事務用品、PC購入196,597円
					通信費	26,000	26,000	34,466	-8,466	wifi通信料14,818円、会計ソフト年料金12,133円、手数料2,475円、切手代(督促状)5,040円
					旅費 交通費	20,500	23,000	15,500	7,500	部会2,500円、監査4,000円、財務部業務4,500円、 税理士相談2,000円、税理士相談日当2,500円
					需用費	7,500	7,500	8,696	-1,196	監査昼食1,000円×6名 監査、委員会開催茶菓子代、税理士土産
					相談料	66,000	66,000	66,550	-550	税理士相談料(源泉徴収込み)
					保険料	53,000	58,000	42,800	15,200	ボランティア保険350円×108名、賛助費5,000円
規約委員会	2,000	2,000	1,500	500	事務用品費	1,000	1,000	0	1,000	資料ファイル4冊
					旅費 交通費	1,000	1,000	1,500	-500	第1回委員会(12/11)WEB日当(500円×3名)
倫理委員会	2,000	2,000	0	2,000	事務用品費	1,000	1,000	0	1,000	ファイル、その他必要な事務用品
					通信費	1,000	1,000	0	1,000	切手、送料、電話料金
総会議事運営委員会	33,000	33,000	59,335	-26,335	事務用品費	2,500	2,500	0	2,500	ファイル、その他事務用品
					通信費	1,000	1,000	0	1,000	手数料別途科目にて計上
					報償費	4,000	4,000	0	4,000	総会リモートホスト謝金0円
					会議費	15,000	15,000	3,520	11,480	総会会場費(会場代、備品使用代)、手数料他
					旅費 交通費	7,500	7,500	35,705	-28,205	総会交通費他、手数料込
					需用費	3,000	3,000	20,110	-17,110	総会昼食代手数料込
選挙管理委員会	18,000	18,000	0	18,000	事務用品費	2,500	2,500	0	2,500	ファイル、その他事務用品
					会議費	0	0	0	0	
					旅費 交通費	10,500	10,500	0	10,500	定期委員会開催(500円×0名)×3回分 ※選挙開催時臨時招集時:別途計上
					需用費	5,000	5,000	0	5,000	※選挙開催時:別途計上(選管0名+立会人0名700円×0名4,900円) ※選挙開催時:別途印刷費計上(70,000円予定)

## (2)事業運営部門

(単位:円)

	予算額	補正予算額	決算額	差額	勘定科目	金額	補正予算額	決算額	差額	備考
広報部	338,000	388,000	266,486	121,514	事務用品費	30,000	30,000	4,040	25,960	印刷費(依頼文書,チラシ等):0円 協会より資料取り寄せ費:0円 備品・消耗品購入(USBメモリ、整理ケースなど):4,040円
					通信費	81,600	81,600	41,198	40,402	ATM振込手数料:5,555円 県士会ニュース送料(ヤマト運輸):35,643円 啓発活動に関わる郵送料:0円
					報償費	56,000	56,000	0	56,000	啓発活動に関わる報酬:0円
					会議費	0	0	0	0	
					需用費	152,000	152,000	162,528	-10,528	県士会ニュース委託費:156,676円 啓発活動:5,852円(制作、会場、茶菓子、協力者用など)
					ホームページ管理費	31,900	31,900	26,620	5,280	月額2,200円×12か月=21120円、ドメイン更新料5,500円(年1回)
					旅費 交通費	31,500	31,500	32,100	-600	啓発活動の日当(フレイル、ボランティアフェス、元気フェス):32,100円
					予備費	5,000	5,000	0	5,000	
事業部	295,000	260,000	209,035	50,965	事務用品費	3,000	3,000	550	2,450	事業部:550円
					通信費	12,000	12,000	0	12,000	中国研修:0円
					報償費	60,000	60,000	34,000	26,000	総会後研修:講師謝礼34,000円
					会議費	30,000	30,000	10,000	20,000	中国研修:会場費10,000円(5,000円×2日)
					旅費 交通費	30,000	30,000	102,500	-72,500	中国研修:会議でのWeb日当・交通費39,000円 中国研修:研修当日の日当57,500円 訪問リハ研修など交通費:1,000円 訪問リハ研修などWeb会議日当5,000円(2,500円×2名)
					需用費	20,000	20,000	7,985	12,015	中国研修:昼食代2,000円、茶菓子代4,985円 訪問リハ研修:昼食代1,000円
					負担金	50,000	50,000	54,000	-4,000	POST:54,000円
					福利厚生費	50,000	50,000	0	50,000	
学術部	647,000	733,000	610,091	122,909	事務用品費	15,000	10,000	6,158	3,842	事務用品0円、学会:6158円
					通信費	4,000	4,000	1,310	2,690	切手代1,310円
					報償費	123,500	118,500	107,825	10,675	特別講演報償費2名30,000円(源泉徴収込み)、旅費2名57,440円、 宿泊2名18,900円、手数料1,485円
					会議費	155,500	155,500	143,644	11,856	会場費(当日)116,394円 会場費(前日)17,250円、 講師打合せ会議費10,000円
					旅費 交通費	109,000	109,000	78,500	30,500	学会:委員・当日スタッフ旅費73,000円、 次期学会:委員旅費5,500円
					需用費	185,000	281,000	258,049	22,951	学会:委員日当12名60,000円、ポスター代、学会賞景品など:24,370円 学会機器代:20,185円、講師需要費:18,709円 実行委員前日夕食12名12,000円、講師2名昼食3,000円 実行委員当日スタッフ昼食16,000円、横断幕35,200円 スピンオフ企画昼食代11,620円 学会誌印刷製本47,080円(送料込)、その他9,885円
					勉強会活動費	50,000	50,000	14,605	35,395	勉強会活動費14,605円(源泉徴収・手数料込み)
					予備費	5,000	5,000	0	5,000	

教育部	592,000	598,000	400,596	197,404	事務用品費	11,000	11,000	1,590	9,410	現職者共通研修:事務用品730円 現職者選択研修:事務用品860円
					通信費	20,100	15,000	0	15,000	各手数料は別途科目で計上
					報償費	327,500	356,000	256,820	99,180	事例報告指導12,000円(6,000円×2名)(源泉徴収込み) 現職者共通研修講師48,000円(6,000円×8名)(源泉徴収込み) 現職者選択研修県内外講師総額80,820円(源泉徴収・手数料込み) 臨床実習指導者研修:世話人謝礼金116,000円(源泉徴収込み)
					会議費	35,000	16,800	15,120	1,680	現職者共通研修会場費:前期(西)5,000円、後期(東)10,120円
					旅費 交通費	52,400	74,200	48,465	25,735	現職者共通(講師)8,200円、事例報告1,000円 現職者共通選択スタッフ交通費5,500円、ATM手数料110円 現職者選択WEB日当500円 臨床実習指導者講習交通費9,500円 教育部運営委員会交通費:18,655円(手数料込) 生涯教育制度推進会議(Web)参加 5,000円(2,500円×2回)
					需用費	141,000	125,000	77,374	47,626	現職者選択:スタッフ3,000円(1,000円×3名) 臨床実習指導者講習資料代24,385円(手数料込) 生涯教育制度推進会議(Web)弁当代1,000円(1,000円×1回) 臨床実習指導者研修:昼食代12,000円 MTDLP食糧費:31,989円 MTDLP講師会議費:5,000円
					返金	0	0	1,227	-1,227	R4年度基金への返金済454円 R5年度基金への返金済773円
地域包括ケアシステム 委員会	50,000	70,000	31,618	38,382	需用費	30,000	30,000	13,600	16,400	印刷製本費:13,600円
					会議費	20,000	20,000	0	20,000	鳥取JRAT協力金0円
					旅費 交通費	0	20,000	17,500	2,500	第16回JIMTEF災害医療研修17,500円
					返金	0	0	518	-518	R4年度基金への返金済518円
認知症・ メンタルヘルスケア委 員会	30,000	30,000	18,592	11,408	需用費	30,000	30,000	18,098	11,902	食糧費18,098円
					返金	0	0	494	-494	R4年度基金への返金済5円 R5年度基金への返金済489円
こども発達支援推進委 員会	30,000	52,000	29,035	22,965	事務用品費	1,800	1,800	0	1,800	資料ファイル、印刷用紙代
					通信費	20,000	20,000	0	20,000	学校(特別支援教育関係)84円×0通 協会資料取り寄せ
					旅費 交通費	8,200	30,200	29,035	1,165	県教育委員会訪問6,500円 筋ジスキャン参加者交通費2,000円 スタッフ会議(WEB)17,000円 会計会議1,500円 手数料2,035円
事業活動支出計(B)	3,215,000	3,384,000	2,509,474	874,526						
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	-4,000	-173,000	508,934	-681,934						

令和5年度決算書(特別会計)

自 令和 5年4月 1日  
至 令和 6年3月31日

科 目	予算額	決算額	差額	
1. 事業活動収入				
鳥取県地域医療介護総合確保基金	1,538,000	1,538,000	0	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費 716,000 地域包括ケアシステム研修事業費 202,000 チームケアリーダー育成研修事業 620,000
研修会参加費	96,000	96,000	0	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業 33,000 地域包括ケアシステム研修事業 28,000 チームケアリーダー育成研修事業 35,000
負担金	88,426	88,426	0	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業 38,216 地域包括ケアシステム研修事業 31,618 チームケアリーダー育成研修事業 18,592
収入合計	1,722,426	1,722,426	0	

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差額	小科目	金額	積算内訳
2. 事業活動支出						
生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費	787,216	787,216	0	報酬	93,000	研修日当¥48,000(基金) 出張日当 ¥45,000(基金)
				報償費	190,000	講師謝金¥190,000(基金)
				旅費	124,420	委員会旅費 ¥27,700(基金) 研修宿泊費¥96,720(基金)
				需用費	49,109	研修会講師食糧費 ¥3,000(基金) 消耗品費 ¥2,920(基金) 印刷製本 ¥6,200(基金) 講師茶菓子代 ¥16,013(県士会) 研修会スタッフ食糧費 ¥15,000(県士会) スタッフ茶菓子代 ¥976(県士会) 講師会議費 ¥5,000(県士会)
				役務費	24,583	zoom契約料 ¥22,110(基金) パスマーケット手数料 ¥1,153(基金) 講師費振込手数料 ¥770、両替手数料 ¥550(基金)
				使用および賃借料	1,650	会場費 ¥1,650(基金)
				返金	304,454	R4年度基金への返金済454円(県士会) R5年度基金への返金済773円(県士会) R5年度基金への返金済303,227円(基金) R5年度基金への返金予定0円(基金)
地域包括ケアシステム研修事業	261,618	261,618	0	報酬	99,000	研修スタッフ日当:34,000円(基金) 研修派遣日当:65,000円(基金)
				報償費	23,500	講師謝金:23,500円(基金)
				旅費	58,500	委員・スタッフ旅費:41,000円(基金) 委員・スタッフ旅費:17,500円(県士会)
				需用費	14,891	消耗品費:1,291円(基金) 印刷製本費:13,600円(県士会)
				役務費	1,857	通信運搬費1,857:円(基金)
				返金	63,870	R4年度基金への返金済518円(県士会) R5年度基金への返金予定63,352円(基金)
チームケアリーダー育成研修事業	673,592	673,592	0	報酬	93,000	研修スタッフ日当18,000円(基金) 研修派遣日当75,000円(基金)
				報償費	80,000	講師謝金80,000円(基金)
				旅費	99,060	講師旅費52,560円(基金) 委員・スタッフ旅費46,500円(基金)
				需用費	71,065	食糧費18,098円(県士会) 消耗品23,461円(基金) 印刷製本費29,506円(基金)
				役務費	41,962	通信運搬費33,636円(基金) 手数料8,326円(基金)
				使用および賃借料	55,500	会場費6,000円(基金) 研修機器使用料49,500円(基金)
				返金	233,005	R4年度基金への返金済5円(県士会) R5年度基金への返金済489円(県士会) R5年度基金への返金済232,511円(基金) R5年度基金への返金予定0円(基金)
事業活動支出計	1,722,426	1,722,426	0			
事業活動収支差額	0	0	0			

正味財産増減計算書

自 令和5年4月1日  
至 令和6年3月31日

勘定科目		当年度	前年度	差額
大科目	中科目			
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収入		378,393	552,333	-173,940
	研修会収入	193,422	271,333	-77,911
	学会収入	134,971	281,000	-146,029
	その他の収入	50,000	0	50,000
会費収入		2,600,000	2,619,000	-19,000
	正会員会費収入	2,600,000	2,609,000	-9,000
	賛助会員会費収入	0	10,000	-10,000
補助金収入		1,762,426	1,696,487	65,939
	補助金収入	1,762,426	1,696,487	65,939
雑収入		15	3,462	-3,447
	雑収入	15	3,462	-3,447
経常収益計(A)		4,740,834	4,871,282	-130,448



単位:(円)

勘定科目		当年度	前年度	差額
大科目	中科目			
(2) 経常費用				
① 管理運営部門		944,021	776,523	167,498
	事務局支出	508,719	509,775	-1,056
	財務部支出	374,467	208,344	166,123
	規約委員会支出	1,500	0	1,500
	倫理委員会支出	0	0	0
	総会議事運営委員会支出	59,335	49,254	10,081
	選挙管理委員会支出	0	9,150	-9,150
② 事業運営部門		3,287,879	3,096,234	191,645
	渉外部支出	0	23,899	-23,899
	広報部支出	266,486	188,368	78,118
	事業部支出	209,035	413,845	-204,810
	学術部支出	610,091	661,138	-51,047
	教育部支出	400,596	109,883	290,713
	領域対策部支出	0	76,850	-76,850
	地域包括ケアシステム 委員会支出	31,618	16,162	15,456
	認知症・メンタルヘルスク 推進委員会支出	18,592	9,602	8,990
	こども発達支援推進委員会	29,035	0	29,035
	生活行為向上マネジメント (リハビリテーション)啓発事 業	787,216	640,223	146,993
	地域包括ケアシステム研修 事業	261,618	278,662	-17,044
	チームケアリーダー 育成研修事業	673,592	677,602	-4,010
経常費用計(B)		4,231,900	3,872,757	359,143
当期経常増減額(C)=(A)-(B)		508,934	998,525	-489,591
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益		( 0)	( 0)	( 0)
経常外収益計(D)		0	0	0
(2) 経常外費用		( 0)	( 0)	( 0)
経常外費用計(E)		0	0	0
当期外経常増減額(F)=(D)-(E)		0	0	0
当期一般正味財産増減額(G)=(C)+(F)		508,934	998,525	-489,591
一般正味財産期首残高(H)		6,523,365	5,524,840	998,525
一般正味財産期末残高(I)=(G)+(H)		7,032,299	6,523,365	508,934
II 正味財産期末残高		7,032,299	6,523,365	508,934

## 監査報告書

令和6年4月14日

一般社団法人鳥取県作業療法士会  
会長 段 敬史 様

一般社団法人鳥取県作業療法士会

監事 花倉 敏文



監事 江原 貴子



監事 小山 久美子



私たち監事は、令和5年度における鳥取県作業療法士会の事業を監査したので、その結果について以下の通り報告いたします。

### I. 監査方法の概要

令和5年度に開催された理事会に出席し、事業の報告を聴取しました。また、令和5年度事業報告書、事業報告の附属明細書、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計画書）、財産目録、貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計画書）の附属明細書、収支計算書を閲覧するとともに、執行状況を聴取するなど、必要な監査手続きを実施しました。

### II. 監査の結果

#### 1. 事業報告等の監査結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 業務の執行においても法令及び定款に従い、正しく遂行しているものと認めます。

#### 2. 計画書類及びその附属明細書の監査結果

計画書類及びその附属明細書は、法人の状況を適正に表示しているものと認めます。

### III. 監事の意見

令和5年度は新組織体制に変わり各部局の役割変化に応じて適正に事業活動を遂行されました。

また、昨年度に引き続き、地域支援・行政・教育・コンプライアンスへの対応、協会との連携など、幅広い分野で適正に事業が展開できたと考えます。

今後は、繰越金の活用方法も含め、福利厚生など会員にも還元できる形での事業展開を期待します。

令和6年度においても、会員の皆様には会費納入をはじめ、法人からの依頼や要請事項につきまして迅速かつ円滑に対応いただき、また、研修会参加等自己研鑽に積極的に取り組んでいただき、法人の事業が迅速かつ円滑に遂行・発展できますことを望みます。

以上



令和6年度 事業計画

【管理運営部門】

◎ 事務局

1. 会議の開催

- (1) 令和6年度定時社員総会：令和6年5月19日(日)
- (2) 理事会：総会時含め年7回
- (3) 事務局会議
- (4) 三役会議

2. 会員管理

- (1) 会員の入退会管理
- (2) 賛助会員への対応：請求書の送付、連絡調整
- (3) 入会促進活動：県内養成校へ入会案内と入会申込書の送付

3. 文書管理

- (1) 内外文書の受取・保管
- (2) 会員への情報配信：事務局より登録いただいている会員メールアドレスへ適宜情報配信
- (3) 個人情報の保護に関すること：安全管理措置に関するチェック(年2回)の実施・保存

4. 作業療法士に関する全国組織との連携

- (1) 日本作業療法士協会
  - ① 日本作業療法士協会令和6年度定時社員総会：鳥取県代議員
  - ② 協会長・都道府県士会長会議(旧47都道府県委員会)(年3~4回)
  - ③ 日本作業療法士会からのアンケート回答
  - ④ 協会員=士会員に向けての情報共有と発信、定款・諸規定の見直し

5. 関係機関との渉外、連携・調整に関わること

- (1) 会長活動
  - ① 養成校への入学式・卒業式出席および祝電の送付
  - ② 関係機関との会議出席
- (2) 鳥取県社会福祉協議会：企画会議、研修講師推薦
- (3) 県内市町村等への介護認定審査会・障害区分認定審査会委員の推薦

6. その他法人の管理運営に関すること

- (1) 法人市民税・県民税：減免申請手続き
- (2) 会員、他県士会、他団体等からの問い合わせ対応：随時
- (3) 弁護士への相談：随時
- (4) 法令、制度変更に伴う書類等の見直し

◎ 財務部

1. 会費徴収について

- (1) 会費徴収
- (2) 未納者への督促

2. ボランティア保険加入手続き

県士会事業に関わる会員のみ加入手続きを行う

3. 備品管理台帳の更新と各部備品の管理

4. 予算事務に関する特記事項

なし

◎ 規約委員会

1. 規約委員会の適宜開催

2. 施行則・規程内容の追加・修正、削除の作業及び問い合わせ

3. 各専門部との連携

◎ 倫理委員会

1. 現職者共通研修会「職業倫理」の講演
2. 相談への対応
3. 一般社団法人日本作業療法士協会との連携

◎ 総会議事運営委員会

1. 定時社員総会の議案書の作成。※議事録の作成（事務局）
2. 定時社員総会の開催
  - (1) 期日：令和6年5月19日（日） 10：00～11：00
  - (2) 会場：まなびタウンとうはく 研修室
  - (3) 内容：令和5年度事業報告書承認  
令和5年度事決算報告書承認及び監査報告  
令和6年度事業計画及び予算
  - (4) その他：議長選出、書記任命

◎ 選挙管理委員会

1. 委員会の開催  
新委員への引継ぎ、マニュアルの確認
2. 選挙方法について検討  
届け出、投票方法等について（ネット活用なども含め）

【事業部門】

◎ 広報部

1. 士会ニュース  
発行回数 年4回（6月、9月、11月、翌2月） 123号～126号  
経費の増額に伴い運用については検討予定。判断によっては事業の変更もあり得る。
2. 広報資料取り寄せ  
日本作業療法協会より必要時に取り寄せ
3. 啓発・広報活動
  - (1) 啓発活動
    - ① 士会会員向け  
情報発信等（内容については検討しながら）
    - ② 県民向け  
ねりんピックでのブース展示
    - ③ 啓発グッズの作製  
作業療法を紹介する機会を設けるようイベントへの参加
4. 広報媒体の管理・運用
  - (1) 県士会ホームページの管理・運用
  - (2) SNS の管理運用
5. 日本作業療法士協会との連携  
会議への参加など必要に応じて対応。
6. その他

◎ 事業部

1. 総会後研修会
  - (1) 期日：令和6年5月19日（日）
  - (2) 会場：学びタウン等伯

- (3)内容：未定
- 2. 訪問リハ・地域リーダー会議
  - (1)期日：未定
  - (2)会場：未定
  - (3)出席者：川上紘司（地域リーダー 所属；錦海リハビリテーション病院）
- 3. 中国地区作業療法士会合同研修会
  - (1)期日：未定
  - (2)会場：未定（広島県開催）
  - (3)内容：未定
- 4. 福祉用具相談支援システム合同業務連絡会
  - (1)期日：未定
  - (2)会場：未定
  - (3)内容：未定
- 5. 訪問リハビリテーション実務者研修会
  - (1)期日：未定
  - (2)会場：未定
  - (3)内容：未定
- 6. 士会員への福利厚生
  - (1)内容：新入会員を対象とした事業を実施予定。
- 7. 第36回全国健康福祉祭とっとり大会 ねんりんピックはばたけ鳥取2024
  - (1)期日：令和6年10月18～22日
  - (2)会場：鳥取県内全域
  - (3)内容：大会開催期間中の健康づくり教室として参加。広報部の普及啓発キャンペーンの一環としてブース展示を行う。展示日：令和6年10月19日。会場：県立武道館。

## ◎ 学術部

- 1. テーマ別勉強会
  - (1)東部地区 1テーマ 東部地区全般勉強会
  - (2)東・中部地区 1テーマ 特別支援教育（東部・中部）
  - (3)中部地区 2テーマ 中部精神科勉強会、中部地区合同勉強会
  - (4)西部地区 5テーマ 西部精神科勉強会、西部福祉用具・住環境勉強会、CVA勉強会、作業を考える会、特別支援教育（西部）
  - (5)テーマ別勉強会の在り方を検討
- 2. 第20回鳥取県作業療法学会
  - (1)会期：2024年12月22日（日）対面開催予定
  - (2)会場：鳥取県立倉吉未来中心
  - (3)内容：
    - ①学会テーマ：「Re: Connect ―あなたは何とつながりますか？―」
    - ②学会長講演：梅津清司郎（YMCA 米子医療福祉専門学校）
    - ③特別講演：籾脇健司氏（東北福祉大学 健康科学部 教授）
    - ④イベント：現在調整中
    - ⑤一般演題：発表形式、演題数など調整中（事例登録としての発表も可能）
    - ⑥優秀演題表彰：2演題程度
  - (4)実行委員：
 

学会長	梅津清司郎（YMCA 米子医療福祉専門学校）
実行委員長	幸田 真（倉吉病院）
副実行委員長	松本周三（三朝温泉病院）
広報・接待	門脇翔子（大山リハビリテーション病院）
広報・接待	前田 恵（倉吉病院デイケア）

会場	河口皓一（倉吉病院）
会場	山本未来（錦海リハビリテーション病院）
学会誌/演題	竹田佳弘（藤井政雄記念病院）
学会誌/演題	中村貴紀（三朝温泉病院）
学会誌	足立万由子（アロハデイサービスあずま園）
会計	清山 茜（三喜苑）
学術部長/会計	高梨悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）

(5) 実行委員会の開催：10 回程度

### 3. 第 21 回鳥取県作業療法学会（西部）

- (1) 学会長の選出
- (2) 実行委員会委員の選出
- (3) 実行委員会の開催

### 4. 査読委員会

- (1) 査読委員：池淵敏斗（米子病院）、松本周三（三朝温泉病院）、  
宮脇淳（米子東病院）、平野正樹（錦海リハビリテーション病院）、  
高梨悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）

(2) 内容

- ① 査読委員会の開催（年 3 回）
- ② 査読者登録制度の作成（査読者の基準作成）
- ③ 査読者の登録および管理
- ④ 査読者の選定と査読依頼
- ⑤ 査読結果の集約  
（＊採択・不採択の最終判断は、学会長と査読委員長との協議で行う）
- ⑥ 県学会演題採択に関する投稿規定作成および修正

### 5. 日本脳卒中医療ケア従事者連合（SCPA-Japan）

鳥取県支部担当者：射場靖弘（鳥取大学医学部附属病院）

### 6. 学会運営に関わる人材発掘のための仕組みづくりの構築（人材バンク）

## ◎ 教育部

### 1. 生涯教育制度に関する管理

- (1) ホームページ「生涯教育制度について」更新
- (2) 基礎研修ポイント管理・発行
  - ① 士会裁量基礎研修ポイント集計・発行
  - ② 現職者共通研修修了ポイント発行
  - ③ 現職者選択研修会ポイント発行
  - ④ 鳥取県作業療法学会ポイント発行
  - ⑤ 基礎研修会（士会主催及び共催）ポイント発行

### 2. 生涯教育制度に関する開催

#### (1) 現職者共通研修会

期日と会場	区分	テ ー マ	講 師
① 前期 7月27日 会場：東・中部 まなびタウン	I	作業療法生涯教育概論	川上 紘司：錦海リハ病院
		職業倫理	北山 朋宏：錦海リハ病院
	III	保健・医療・福祉と地域支援	長谷川 徹：はまなす
		作業療法における協業・後輩育成	田住 秀之：YMCA米子
② 後期 10月中頃に予定 会場：西部 YMCA米子	II	作業療法の可能性	宮城 直子：尾崎病院
		事例報告と事例研究	梅津清司郎：YMCA米子
	IV	日本と世界の作業療法の動向	光島 宏美：江府町役場
		実践のための作業療法研究	高梨 悠一：YMCA米子

(2) 現職者選択研修会

2024年鳥取県は老年期領域を開催

講師は全て認定作業療法士

期日と会場	テーマ	講師
12月14日 Zoom開催	老年期の基礎知識	梅津清司郎：YMCA米子
	老年期作業療法の治療的枠組み	村瀬 良知：よなご脳神経クリニック
	地域生活を支援する	鬼木 徳子：老健やわらぎ
	作業療法実践トピックス	仲田 奈生：YMCA米子

(3) 臨床実習指導者講習会

年1回の開催予定

3. 生涯教育に関する研修会等の認定

- (1) 現職者共通研修「事例報告」「事例検討」認定（テーマ別勉強会より「事例報告会認定申請」を行い、教育部長が受理・認定。学部部員がホームページ掲載依頼）
- (2) 基礎研修会認定（テーマ別勉強会より申請を行い、教育部長が受理・士会主催認定）
- (3) SIG等登録認定（SIGとして認定を希望する団体を会員が申請し教育部長が受理・認定）

4. 日本作業療法士協会の生涯教育制度推進担当者

- (1) 生涯教育制度推進担当者会議会への出席
- (2) 生涯教育受講登録システムへの登録

5. 会員への情報伝達

- (1) 県士会ニュースへの掲載
- (2) ホームページへの掲載
- (3) その他

6. 他部との連携・協力

- (1) 学術部：テーマ別勉強会、基礎研修会、ポイント発行など
- (2) 事業部：鳥取県作業療法学会、訪問リハビリテーション実務者研修会など
- (3) 領域対策部：現職者選択研修会など
- (4) 事務局：会員管理事務など
- (5) 特設委員会：士会主催研修会など

◎ 生活行為向上マネジメント委員会

1. 令和6年度鳥取県地域医療介護総合確保基金申請作業
2. 定期委員会（年7回）
  - (1) 生活行為向上マネジメント研修会 企画・運営
  - (2) 生活行為向上マネジメント研修カリキュラムの管理
  - (3) 生活行為向上マネジメント広報活動
  - (4) 生活行為向上マネジメント指導者養成

◎ 地域包括ケアシステム委員会

1. 令和6年度鳥取県地域医療介護総合確保基金申請  
地域包括ケアシステム研修会2回・運転と作業療法研修会2回・こども発達支援研修会1回
2. 研修会開催
  - (1) 地域包括ケアシステム人材育成研修会（1回）
    - ①テーマ：未定
    - ②開催日：未定
    - ③講師：未定
    - ④内容：未定
  - (2) 地域包括ケアシステム大研修会（1回）
    - ①テーマ：防災関連の内容を含む
    - ②開催日：未定



- ③講 師：未定
- ④内 容：未定
- (3) 運転と作業療法研修会（運転支援基礎編）
  - ①テーマ：未定
  - ②開催日：未定
  - ③講 師：未定
  - ④内 容：未定
- (4) 運転と作業療法研修会（代償手段基礎編）
  - ①テーマ：未定
  - ②開催日：未定
  - ③講 師：未定
  - ④内 容：未定
- 3. 災害時対応マニュアルの作成協議
  - (1) 日本作業療法士協会災害シミュレーションの実施
  - (2) 会員の安否確認方法、連絡・報告系統作成の検討
  - (3) 災害時マニュアルの作成検討
  - (4) 多団体との災害時連携の確認（POST・JRAT など）
- 4. 地域包括ケアシステム協力体制の整備推進
  - 各地域の OT 活用調査・情報共有・課題抽出と対応の検討
- 5. パンフレット・フレイル予防啓発チラシの見直しと管理
  - 県・各地域包括支援センター・県士会員・その他各関係機関など状況に合わせ配布
- 6. 担当者会議
  - (1) 地域包括ケア委員会・災害対策部 6 回
    - 自動車運転研修会全体会 2 回 地区別 2 回
  - (2) 委員メンバー選出
    - 委員長：永見忠志（皆生温泉病院）
    - 副委員長：平野正樹（錦海リハビリテーション病院）
    - 東部委員：責任者 原田伸吾（デイサービスつむぎ）
      - 大淵賢一（鳥取赤十字病院）、藤原礼奈（鳥取赤十字病院）
      - 涌島恵理（鳥取療育園）、長田啓（デイサービスつむぎ）
    - 中部委員：責任者 藤田恵子（北栄町役場）
      - 三浦純（三朝温泉病院）
    - 西部委員：責任者 村瀬良知（よなご脳神経クリニック）
      - 加藤淳美（サンライズ名和）、三上将史（山陰労災病院）
      - 笠原瑠奈（山陰労災病院）
    - 災害対策：責任者 平野正樹（錦海リハビリテーション病院）
      - 藤田恵子（北栄町役場）、永見忠志（皆生温泉病院）
    - 自動車運転研修会企画・実施メンバー
      - 責任者兼西部地区委員長 岩崎大輔（養和病院）
      - 西 部 神門博美（鳥取大学病院）、河場航（山陰労災病院）
        - 原田あゆ美（錦海リハビリテーション病院）、野々村賢（博愛病院）
        - 門脇翔子（大山リハビリテーション病院）
      - 中部地区委員長 幸田真（藤井政雄記念病院）
      - 中 部 中村貴紀（三朝温泉病院）、竹田佳弘（藤井政雄記念病院）
        - 樋口由紀子（清水病院）
      - 東部地区院長 坂尻信幸（鳥取県立中央病院）
      - 東 部 中島直（尾崎病院）、福田哲也（NH0 米子医療センター）
        - 木下真実（鳥取生協病院）、井上雅人（鳥取県立中央病院）

## ◎ 認知症・メンタルヘルスケア推進委員会

1. 令和6年度鳥取県地域医療介護総合確保基金「チームケアリーダー育成研修事業」申請作業
2. 委員会開催(年5回)
  - (1)研修会企画・運営・受講登録
  - (2)認知症に関連する県内事業協力派遣調整
  - (3)認知症支援・事業協力に携わる会員関与状況の把握
  - (4)日本作業療法士協会との連携(士会における認知症への取組みを推進する担当者同士の情報交換会)
  - (5)精神科の作業療法、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム、メンタルヘルスケアの動向把握
3. 研修会
  - (1)認知症研修会2回、メンタルヘルスケアまたは事業協力における課題・地区課題に応じた研修会1回
  - (2)期日：未定
  - (3)会場：未定
4. 事業協力・派遣
  - (1)認知症施策に基づく各種事業への派遣協力
  - (2)認知症の人と家族の会、認知症初期集中支援チーム員会議、認知症施策検討委員会等への派遣協力
  - (3)認知症支援に関する研修派遣・視察派遣
  - (4)精神障害にも対応した地域包括ケアシステム、メンタルヘルスケアに関する取組みの視察・協力

## ◎ こども発達支援推進委員会

1. 学校作業療法に関する研修会
  - (1)センター的機能充実事業について
    - ①開催日：未定(7~8月を予定)
    - ②会場：未定
  - (2)作業療法士とLD等専門員が考える学校支援とは
    - ①開催日：未定(12~1月を予定)
    - ②会場：未定
2. 勉強会(学術部テーマ別勉強会をバックアップする)  
令和6年度は東・中・西部合同で3回実施予定
3. 地域貢献
  - (1)鳥取県筋ジストロフィー協会への参加

令和6年度予算書

自 令和 6年 4月 1日  
至 令和 7年3月31日

勘定科目		備 考	
大科目	予算額	小科目	金額
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	2,700,000	年会費	2,700,000 5,000円×540名
研修会収入	375,000	第20回県学会	135,000 1,000円×120名、3,000円×5名
		現職者共通研修	40,000 500円×80名
		現職者選択研修	80,000 4,000円×20名
		臨床実習指導者講習会	120,000 3,000円×40名
補助金等の収入	0	助成金	0
		賛助費	0
雑収入	1,000	雑収入	1,000 預金利息
事業活動収入合計(A)	3,076,000		

勘定科目		予算額	小 科 目	備 考
中 科 目				
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
啓発グッズ等積立預金取崩収入	0			
投資活動収入計 (D)	0			
2. 投資活動支出				
啓発グッズ等積立預金取得支出	50,000			郵便振替預金内にて管理
投資活動支出計 (E)	50,000			
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	△ 50,000			
III 予備費支出 (G)	200,000			
当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)	△ 374,000			
前期繰越収支差額(I)	6,377,299			
次期繰越収支差額(J)=(H)+(I)	6,003,299			

2. 事業活動支出  
(1) 管理運営部門

(単位:円)

	予算額	勘定科目	金額	備考
事務局	789,000	事務用品費	54,000	事務用品24,000円 封筒作成費30,000円
		通信費	55,000	法人携帯使用料42,000円 切手・振込13,000円
		会議費	6,000	理事会6回 施設利用費(1,000円×6回)
		旅費 交通費	350,000	理事会交通費108,000円(1回18,000円×6回) 代議員定時社員総会10,000円 48都道府県委員会200,000円 三役会議交通費10,000円 代表理事活動費10,000円 事務局業務7,000円 弁護士相談5,000円
		需用費	25,000	三役会議昼食10,000円 48都道府県委員会昼食5,000円 代表理事活動手土産9,000円 茶菓子代1,000円
		租税公課	10,000	法人登録税10,000円
		顧問料	264,000	弁護士顧問料(22,000円×12か月)
		負担金	10,000	48都道府県委員会会費10,000円
		福利厚生費	15,000	電報(祝電)等
		事務用品費	5,000	事務用品
財務部	185,000	通信費	33,000	wifi通信料14,000円、会計ソフト年料金12,000円、切手代(督促状)7,000円
		旅費 交通費	20,500	監査3,500円、財務部業務10,000円、税理士相談時4,000円、納税3,000円
		需用費	7,500	監査昼食1,000円×6名 監査、委員会開催茶菓子代
		相談料	66,000	税理士相談料
		保険料	53,000	ボランティア保険350円×150名、手数料
		事務用品費	1,000	資料ファイル3冊
		旅費 交通費	3,000	委員会2回分として委員会交通費(500円×6名)
規約委員会	4,000	事務用品費	1,000	ファイル、その他必要な事務用品
倫理委員会	2,000	通信費	1,000	切手、送料、電話料金
総会議事運営委員会	33,000	事務用品費	2,500	ファイル、その他事務用品
		通信費	1,000	
		報償費	4,000	総会リモートホスト謝金4,000円
		会議費	15,000	総会会場費(会場代、備品使用代)
		旅費 交通費	7,500	委員会7,500円(500円×5名)×3回分
		需用費	3,000	1000円×3回分
選挙管理委員会	18,000	事務用品費	2,500	ファイル、その他事務用品
		会議費	0	
		旅費 交通費	10,500	定期委員会開催(500円×7名)×3回分 ※選挙開催時臨時招集時:別途計上
		需用費	5,000	※選挙開催時:別途計上(選管5名+立会人2名700円×7名4,900円) ※選挙開催時:別途印刷費計上(70,000円予定)

## (2) 事業運営部門 (単位:円)

予 算 額	勘 定 科 目	金 額	備 考
462,000	広報部		
	事務用品費	20,000	印刷費(依頼文書、チラシ等):10,000円 協会より資料取り寄せ費:5,000円 備品・消耗品購入(事務用品、整理ケースなど):5,000円
	通 信 費	40,000	ATM振込手数料:10,000円 啓発活動に関わる郵送料:30,000円
	報 償 費	0	※報酬が発生する活動は未実施予定
	会 議 費	0	※オンラインを予定
	需 用 費	300,000	県士会ニュース委託費:印刷25,000円×4回、封入郵送40,000円×4回 啓発活動:40,000円(資料印刷、材料費、茶菓子など)
	ホームページ管理費	27,000	サーバーレンタル:21,120円、ドメイン更新料:5,500円
	旅費 交通費	70,000	会議(WEB)交通費:10,000円 啓発活動に関わる日当:50,000円、交通費:10,000円
472,000	事業部		
	事務用品費	3,000	事務用品:3,000円
	通 信 費	2,000	郵送料:2,000円
	報 償 費	8,000	総会後研修:講師謝礼8,000円
	会 議 費	0	
	旅費 交通費	339,000	総会後研修:旅費1,500円(500円×3名) 訪問リハ会議(5月):Web会議日当5,000円(2,500円×2名) 訪問リハ実務者研修(2月):Web日当500円 中国研修:日当110,000円(5,000円×11名×2日間) 中国研修:旅費110,000円(11名分) 中国研修:宿泊費110,000円(10,000円×11名) ねんりんピック:旅費2,000円
	需 用 費	1,000	訪問リハ実務者研修(2月):昼食代1,000円
	負 担 金	64,000	訪問リハ:54,000円 中国研修:10,000円
福利厚生費	50,000	研修会費補助:10,000円 学会参加費補助:40,000円	
540,000	学部部		
	事務用品費	15,000	事務用品10,000円、学会:5,000円
	通 信 費	4,000	郵送料2,000円、学会2,000円
	報 償 費	99,000	特別講演報償費 18,000円、講師旅費 70,000円、宿泊 10,000円 学術集会 座長旅費 500円(1名)
	会 議 費	70,000	会場費(当日) 50,000円 会場費(前日) 10,000円、 会場関連費 5,000円、講師打合せ会場費 5,000円
	旅費 交通費	113,000	学会:委員旅費70,000円、当日委員旅費8,000円、当日スタッフ旅費10名 5,000円 査読:委員旅費10,000円、次期学会:委員旅費20,000円
	需 用 費	184,000	学会:講師1名昼食1,000円、座長1名昼食1,000円 実行委員12名昼食12,000円、当日スタッフ10名昼食10,000円 役員・委員前日夕食12,000円、委員茶菓子代5,000円 ポスター・チラシ代10,000円、横断幕・懸垂幕など30,000円、賞状2枚3,000円 学会誌印刷製本 60,000円、インカム代25,000円、トロフィー2つ15,000円
	勉強会活動費	50,000	勉強会活動費・研修会支援費50,000円
463,000	教育部		
	事務用品費	10,000	臨床実習指導者講習:USBメモリー×5 MTDLP:文房具、ファイル等
	通 信 費	2,000	現職者共通研修:振込み料220円 現職者選択研修:振込手数料880円 臨床実習指導者講習:振込手数料550円
	報 償 費	252,000	現職者共通研修講師48,000円(6,000円×8名) 現職者選択研修講師24,000円(6,000円×4名) 事例報告指導30,000円(6,000円×5名) 臨床実習指導者講習:世話人謝礼金150,000円(12名)
	会 議 費	31,000	現職者共通研修会:前期(東中)10,000円、後期(西)6,000円 臨床実習指導者研修会:0円 MTDLP:講師研修会打ち合わせ費(5,000円×3名)
	旅費 交通費	70,000	現職者共通(講師)前期東中部5,700円、後期西部6,000円、事例報告2,500円 現職者共通(スタッフ)前期東中部2,000円、後期西部1,000円 現職者選択(講師)Web2,000円(500円×4名) 現職者選択(スタッフ):Web2,500円 臨床実習指導者研修:14,000円(12名) 教育部運営委員会:スタッフWeb日当24,000円(500円×6名×8回) 生涯教育制度推進会議(Web)参加:10,000円(2,500円×4)
	需 用 費	93,000	現職者選択:昼食講師0円、スタッフ3,000円(1,000円×3) 生涯教育制度推進会議(Web)弁当代:2,000円(1,000円×2) 臨床実習指導者研修:昼食代13,000円(12名) 臨床実習指導者研修:資料代40,000円(40名) MTDLP:委員食糧費:30,000円(昼食20,000円、夕食10,000円) 研修茶菓子:5,000円(委員茶菓子:3,000円、講師茶菓子2,000)
	予 備 費	5,000	
50,000	地域包括ケアシステム委員会		
	需用費	30,000	地域包括ケアに関するパンフレット200~300部作成
30,000	認知症・メンタルヘルスケア委員会		
	需用費	30,000	委員昼食・夕食15,000円(研修3回) 講師打ち合わせ会議費15,000円
152,000	子ども発達支援推進委員会		
	事務用品費	10,000	資料ファイル、印刷用紙代
	通 信 費	20,000	OT派遣広報費
	報償費	49,000	学校作業療法人材育成研修会 講師料:24,000円(6,000円×4名) 学校保育所へのOT派遣 日当:25,000円(2,500円×10回)
	会議費	10,000	研修会会場費:5,000円 講師との打ち合わせ費:5,000円
	旅費 交通費	53,000	県教育委員会訪問交通費:2,900円(1,200円×2名、500円×1名) 筋ジスキャンプ参加者交通費:6,000円(1,500円×4人) スタッフ会議(WEB)日当:44,000円(500円×8名×11回)
需用費	10,000	研修会講師およびスタッフ昼食代	
3,200,000	事業活動支出計(B)		
△124,000	事業活動収支差額(C)=(A)-(B)		

